

「熱い心」 ～日本一熱く、絆強き学校への道～



ヒロシマには歳はない！～オンライン平和学習！～

生徒会による「8月6日平和集会」がオンラインで行われ、8時15分黙とう、力強い平和宣言を視聴。その後、生徒会執行部による絵本「世界で一番強い国」の朗読と、核兵器廃絶に向けた思いをこめてプレゼンテーションが行われた。平和について班討議を求め、高校生一万人署名への参加の呼びかけもあったね。自分たちで企画し、平和について議論し、生じた疑問について調べ、内容を構成していく。前期生徒会の質の高い実力を存分に発揮。本当に素晴らしい。残り二日の一学期でやれることの具体的な提案もされた。みんなで全力行動だ～！校長先生からは、佐伯敏子さんの「ヒロシマに歳はないんよ」について話をしたね。佐伯さんは、広島市平和記念公園の一角にある、身元不明者や引き取り手のない約7万人分の遺骨が眠る原爆供養塔に、40年以上通い続け清掃して塔を守ってきた。遺族探しに走り回り、修学旅行の子どもたちに自らの被爆体験も語ってきた。佐伯さんはコンクリートの下に眠る方たちのことを思いながら、生きて、生きて、生き抜いて、2017年に97歳でその生涯を閉じた。「ヒロシマには歳はないんよ」にこめられた佐伯さんの思いとは？この言葉が意味するのはどういうことだろうか？ぜひ今日はこの問いについて仲間や家族と一緒に考えてみてほしい。生徒会の取組と関連づけて考えてみよう。**学んで新しくなれ！**



「ヒロシマには歳はないんよ」 佐伯敏子さん

私のヒロシマの話には、終わりがありません。なぜかというヒロシマには歳はないから。あの日のまま。何十年たってもあの日のまま。

…ヒロシマを風化させないでください。

世界にあのおそろしい人殺しの道具がなくなるまでは、ヒロシマは歳をとらない。とらせたなら困るんです。

主体的・協働的な姿へ！

『主体的』とは、やるべき事をやるだけではなく、状況を見ながら自らの意思で判断し、行動すること。『協働的』とは、同じ目的に向かって力を合わせて行動すること。2年の総合学習は、まさに「ふるさと」をテーマとした主体的・協働的な学びだ。避難場所の大友公園防災倉庫の体験学習により、復興まちづくり事業に係る学習はさらに深まっていきそうだね。今回気づいたこと、考えたことを、今後も発信していこう。1年生は、中央・保体委員を中心とした初めてのクラスマッチを企画。ここからが主体的な取組のスタート。自分たちで盛り上がる雰囲気をつくり、学級旗のもと仲間と熱くなる感覚を少し味わったね。この経験を土台にして、次は体育祭に熱く燃える3年生の背中から学んでいこう。主体的・協働的な姿となれた236人が、熱い心を集めることができたとき、本物の「日本一熱く、絆強き学校」が実現する！**我らここに挑む！**



